

明治から昭和初期にかけてヨーロッパとの交通の拠点であった敦賀港は、1920年代にポーランド孤児、1940年代には杉原千畝が発給した「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港です。当時の市民エピソードや今も続く関係者との交流についての話を聞きながら、「共に生きる」ことについてグローバルな視点で考えてみませんか。

※生駒市は令和3年11月に福井県敦賀市と友好都市提携を結びました。

1920s
Polish Orphans
1940s
Jewish Refugees

TSURUGA 「人道の港 敦賀」の歴史 ～現代に繋がる交流と発信～

2024 **11.30** **土**

講師 | 人道の港
敦賀ムゼウム 館長 ^{あきのり} 西川 明德さん

13:30-15:00 コミュニティセンター 文化ホール

公共交通機関を利用してください。

入場無料

定員 **200** 名

(申込順)



当時の建物を復元した資料館「人道の港 敦賀ムゼウム」は、命の大切さと平和の尊さを未来に語り継いでいくため、映像や展示を通してその史実を国内外に発信しています。



上陸した難民の写真が納められた大迫アルバム



シベリア経由欧亜連絡切符

対 象 市内に住むか市内へ通勤・通学している人
申込み 11月8日(金)から市ホームページの申込フォームか、電話、ファクスに住所、氏名・ふりがな、年齢、電話番号、メールアドレス、託児希望の場合はお子さまの氏名、ふりがな、年齢を書いて、人権施策課へ(〒630-0288 生駒市東新町8-38、電話0743-74-1111(内線4370)、ファクス0743-74-9100)

申込フォームは
こちら▶



- ・手話通訳と要約筆記があります。
- ・託児(生後6カ月～就学前のこども対象)を希望される方は11月20日(水)までに申し込んでください。

背景写真(上) 敦賀の松原でのポーランド孤児たち(下) 上陸を待つユダヤ難民たち【出典：朝日新聞 1941(昭和16)年6月6日】

【問合せ】生駒市人権施策課 0743-74-1111(内線4370)